

# パフォーマンスレベルからみたバスケットボールのフリースローにおけるボール到達位置

元安陽一<sup>1)</sup>, 栗原俊之<sup>2)</sup>, 勝亦陽一<sup>3)</sup>, 金久博昭<sup>4)</sup>, 倉石平<sup>3)</sup>, 川上泰雄<sup>3)</sup>  
福永哲夫<sup>5)</sup>, 矢内利政<sup>3)</sup>

<sup>1)</sup> 上智大学保健体育研究室, <sup>2)</sup> 立命館大学スポーツ健康科学部,  
<sup>3)</sup> 早稲田大学スポーツ科学学術院, <sup>4)</sup> 鹿屋体育大学体育学部, <sup>5)</sup> 鹿屋体育大学

キーワード: 成功率, 偏り, ばらつき

Key words: success rate, accuracy, consistency

## 要 約

本研究は, バスケットボールのフリースローにおけるボール到達位置について, パフォーマンスレベルの違いによる特徴を明らかにすることを目的とした. 被験者は健常成人男性 30 名であり, 競技経験年数が 10 年以上 (以下 ELT, n=10), 10 年未満 (以下 REC, n=10) および競技経験無し (以下 UEX, n=10) の 3 群とした. 被験者にはフリースロー 30 本を行わせた. 分析項目として, ショット成功率とボールのリングに対する到達位置の前後成分および左右成分を算出した. その結果, 1) ボール到達位置の偏りは前後成分が左右成分より大きく, ELT が UEX より小さい, 2) パフォーマンスレベルが高い群ほどショット成功率が高く, ボール到達位置の前後成分におけるばらつきが小さい, および 3) ELT のみボール到達位置の左右成分におけるばらつきが前後成分のばらつきよりも小さいことが明らかとなった.

スポーツ科学研究, 8, 155-165, 2011 年, 受付日: 2010 年 3 月 10 日, 受理日: 2011 年 5 月 20 日

連絡先: 元安陽一 〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町 7-1 上智大学 7 号館 213

Tel : 03-3238-3674 E-mail: motoyasu@sophia.jp